

2022（令和4）年度定時社員総会議事録

日時：2022年3月28日（月）17:50～18:50

会場：オンライン開催

開会の辞

木山常務理事より、事前に寄せられた書面評決状の総数225通(全ての議案について賛成220、反対0)、委任状なしでの総会出席者5名により総数225名であり、代議員総数295名の過半数(148名)を上回ることから、定款30条の定足数を満たし、社員総会が正式に成立することが報告され、開会の辞が述べられた。

議長選出

定款第33条に基づき、理事会において第127回全国学術集会会頭である佐藤真氏を議長に選出したことが報告された。

I.議事録署名人の選任

木山常務理事より、定款第34条に基づき、議事録署名人として岡部繁男監事（東京大学）と八木沼洋行監事（福島県立医科大学）が推薦され、承認された。

II.理事長報告

渡辺雅彦理事長より、新型コロナウイルス感染拡大が始まってから3年目であるが収束の目処がたっておらず会員が教育と感染防御に苦労されている現状について言及がなされた後、日本解剖学会の状況について報告があった。主な点は以下の通り。1) コロナ禍のなかでの全国学術集会については誌上開催やweb開催など対応がなされた。2) 技術職員を取り巻く問題、サージカルトレーニングの実施、倫理指針の変更への対応などに取り組んできた。3) 若手研究者の会の結成と活動を通じて若手育成を行っている。4) 解剖学雑誌の充実を図っている。5) ご遺体の取り違いやご遺骨の返還に関する事故や問題が起こったので管理体制などの点検の依頼を行ってきた。マンパワー不足、技術継承や有機的連携の不足などの背景があるので知恵と力を合わせて乗り切っていきたい。

III.報告事項

以下1～11について、木山常務理事より資料に基づき報告された。

1. 会員状況

2021年12月31日現在の会員状況は、正会員1,875名、永年会員170名、団体会員43名、名誉会員39名、賛助会員21名、寄贈会員24名である。

2. 物故会員

資料に基づき、14名の物故会員氏名が奉読され、出席者全員より黙祷が捧げられた。

3. 教授就任による新代議員

教授就任による新代議員は以下12名である。（敬称略）

井関 祥子（東京医歯大・歯・分子発生学 H20.1.1就任）

大峽 淳（新潟大・歯・口腔解剖学 H28.1.1就任）

篠原 良章（自治医大・解剖学・組織学 H31.4.1就任）

花川 隆（京都大・医・脳統合イメージング R元.10.1就任）

山本 恒之（北海道大・歯・口腔機能解剖学 R3.4.1就任）

安部 仁晴（奥羽大・歯・生体構造学・口腔組織学 R3.4.1 就任）

平井 宗一（日本大・医・機能形態学・生体構造医学 R3.4.1就任）

辻村 麻衣子（日本歯大・新潟生命歯・解剖2 R3.4.1就任）

久保 健一郎（東京慈恵会医大・解剖学 R3.4.1就任）

武内 章英（愛媛大・医・解剖学/組織学 R3.6.1就任）

高橋 宗春（東京医大・組織/神経解剖学 R3.7.1就任）

4. ダイバーシティ推進委員会における委員会名称変更について

今後の活動の幅を広げていくことを目指して「男女共同参画推進委員会」から「ダイバーシティ推進委員会」への名称変更がなされた。

5.解剖体を用いた研究ガイドライン改訂について

「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」と「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」とを統合した「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」が令和3年6月30日から施行されたことに伴い、解剖体を用いた研究ガイドラインが改訂された。

6.解剖実習室のホルマリン濃度測定、献体による外科手術手技研修に関するアンケートについて
解剖実習室のホルマリン濃度測定、献体による外科手術手技研修に関するアンケートがなされ、その分析結果は、解剖学雑誌97号2号（9月発刊予定）にて公開予定である。

7.積立金運用規約の一部改正について

特別事業積立金の使用項目の明確化を行った。

8.学会ホームページSSL化について

セキュリティ対策として、学会ホームページの常時SSL化を行い、会員に周知を行った。

9.会員名簿2022刊行について

会員名簿2022を1月25日に発刊し、配布を完了した。

10.関東支部選出理事欠員補充について

小澤一史理事が近畿支部へ異動することに伴い関東支部選出の理事を辞任され、阪上洋行氏（北里大学）が後任理事として令和4年4月1日付で就任される。

11.その他

旅費規約の変更について報告された。

IV.審議事項

1. 新名誉会員の件

資料に基づき、以下の2名が名誉会員として推薦され、承認された（五十音順、敬称略）。

氏 名	経歴等	備 考
かわた みつひろ 河田 光博	第120回会頭／京都府立医科大学、 理事長（2013年3月～2015年3月）	名誉会員推薦規約（2）
たかだ くにあき 高田 邦昭	理事長（2011年3月～2013年3月）	名誉会員推薦規約（2）

2. 新永年会員の件

資料に基づき、以下の10名が永年会員として推薦され、承認された（五十音順、敬称略）。

氏 名	所 属（職名は申請時点）	備 考
いしだ はじめ 石田 肇	琉球大・医・人体解剖学（教授）	永年会員推薦規約（1）
おおたに ひろし 大谷 浩	島根大（理事）	永年会員推薦規約（1）
きだ まさひこ 木田 雅彦	福島寿光会病院（病院長）	永年会員推薦規約（1）
さかべ こう 坂部 貢	東海大（副学長）	永年会員推薦規約（1）
しが たかし 志賀 隆	筑波大・医・神経生物学（教授）	永年会員推薦規約（1）

しばた ひでし 柴田 秀史	東京農工大・農・獣医解剖学（教授）	永年会員推薦規約（1）
なかむら よういち 中村 陽一	国際医療福祉大・小田原保健医療（教授）	永年会員推薦規約（1）
はしもと まさし 橋本 尚詞	東京慈恵医大・解剖学（組織・発生）（教授）	永年会員推薦規約（1）
ゆり かずや 由利 和也	高知大・医・解剖学（教授）	永年会員推薦規約（1）
わたなべ じゅん 渡辺 淳	関西医大・大学情報センター（准教授）	永年会員推薦規約（1）

3. 申請による代議員の件

資料に基づき、以下の7名が代議員として推薦され、承認された（五十音順、敬称略）。

氏 名	所属等（申請時）	入会年	推薦代議員
えはら あゆか 江原 鮎香	獨協医大・解剖学（准教授）	2003	徳田信子
おおみち ゆうすけ 大道 裕介	金沢医大・解剖学II（准教授）	2008	本間 智
おがた まさき 緒方 雅君	東北医薬大・解剖学（准教授）	2006	上条桂樹
かめたか さとし 亀高 諭	名古屋大・医・保健学・バイオイメージング情報科学・生体機能科学（教授）	2008	木山博資
こばやし ひろと 小林 裕人	山形大・医・解剖1（形態構造医学）（准教授）	2008	内藤 輝
こにし ひろゆき 小西 博之	名古屋大・医・機能組織学（第2解剖学）（准教授）	2011	木山博資
ほりえ まさお 堀江 正男	新潟看護大・看護・自然科学（教授）	2008	竹林浩秀

4.2021（令和3）年度事業および業務監査報告の件

① 学術集会開催状況

以下の学術集会の開催状況が報告された。

全国学術集会	会 頭	開催期日	会 場
第126回全国学術集会	木山博資（名古屋大・医・機能組織学）	3月28日～30日 （ライブ配信） 4月5日～5月10日 （オンデマンド配信）	Web開催

支部学術集会	大会長	開催期日	会場
第67回東北・北海道支部連合	大和田祐二（東北大・医・器官解剖学）	9月4日～5日	Web開催
第109回関東支部	天野修（明海大・歯・形態機能成育学・解剖学）	9月11日	Web開催
第81回中部支部	本間智（金沢医大・解剖学II）	10月23日～24日	Web開催
第97回近畿支部	上村守（大坂歯大・解剖学）	11月27日～ 12月11日	Web上による オンデマンド開催
第76回中国・四国支部	樋田一徳（川崎医大・解剖学）	10月30日～31日	Web開催
第77回九州支部	濱田文彦（大分大・医・解剖学）	10月23日	Web開催

② 会議開催状況

以下の会議の開催状況が報告された。

会議名	開催期日	会場	会議名	開催期日	会場
常務理事会			理事会		

第1回	1月24日	口腔保健協会	第1回	1月24日	口腔保健協会
第2回	3月27日	口腔保健協会	第2回	3月27日	口腔保健協会
第3回	3月27日	口腔保健協会	第3回	3月27日	口腔保健協会
第4回	6月26日	口腔保健協会	第4回	3月27日	口腔保健協会
第5回	9月12日	口腔保健協会	第5回	4月26日～28日	E-mail持ち回り
第6回	12月4日	AP東京八重洲通り	第6回	8月30日～9月5日	E-mail持ち回り
			第7回	9月13日～21日	E-mail持ち回り
定時社員総会	3月27日	口腔保健協会	第8回	12月4日	AP東京八重洲通り

③ 学会誌の刊行状況

1) 編集委員会

資料に基づき、解剖学雑誌の編集・刊行内容の報告があった。

2) Anatomical Science International (ASI) 編集委員会

資料に基づき、ASI の編集・刊行内容、若手からのAssistant editorの登用、インパクトファクターの推移について報告があった。

1) 委員会報告認定解剖組織技術者資格審査委員会

資料に基づき、認定二級解剖技術者の審査（4名の合格）について報告があった。

2) 解剖体委員会

資料に基づき、「解剖準備室ならびに解剖実習室のホルムアルデヒド作業環境測定のアナケート調査」、「外科手術手技研修に関するアナケート調査」の実施について報告があった。

3) 解剖学用語委員会

資料に基づき、日本医学会から提示された「優性遺伝・劣性遺伝の代替推奨用語（案）」について報告があった。

4) 海外交流委員会

資料に基づき、The Korean Association of Anatomist (KAA) の第7回年次総会（オンライン開催：2021年10月13日～15日）における日中韓のシンポジウムの開催、2022年日本解剖学会 (JAA) におけるJAA-KAA合同シンポジウム企画について報告があった。

5) 教育委員会

資料に基づき、第126回全国学術集会での合同教育プログラムの実施、第127回全国学術集会におけるシンポジウム企画、同集会における肉眼解剖トラベルアワードの選定について報告があった。

6) 若手育成委員会

資料に基づき、第127回全国学術集会におけるシンポジウム企画、ティータイム研究者交流会について報告があった。

7) アウトリーチ委員会

資料に基づき、学会ホームページ (HP) へのアクセス、学会HPにおける「解剖学ひろば」の公開、学会HPのSSL化（サイト全ページの通信を暗号化するセキュリティー対策）について報告があった。

8) 学術委員会

資料に基づき、第126および127回全国学術集会における生理学会や顕微鏡学会との連携シンポジウムについて報告があった。

9) 医療専門職教育委員会

資料に基づき、第128回全国学術集会でのワークショップ開催について報告があった。

10) 倫理・利益相反委員会

資料に基づき、「解剖体を用いた研究についての考え方と実施に関するガイドライン（改訂案）」、「日本医学会 COI管理ガイドライン（一部改訂案）」について報告があった。

11) ダイバーシティ推進委員会

資料に基づき、委員会の名称変更、第127回全国学術集会でのシンポジウム企画について報告があった。

12) 若手研究者の会

資料に基づき、第127回全国学術集会における企画（シンポジウム、ランチョンセミナー、ティータイム研究者交流会、若手研究者の会 春の学校）、教育・研究交流掲示板について報告があった。

④ 研究の奨励および業績の奨励

資料に基づき、令和3年度日本解剖学会奨励賞受賞候補者（下記の5名）と日本解剖学会認定技術者功労賞受賞候補者（下記の1名）が報告され、了承された。

令和3年度日本解剖学会奨励賞受賞者（五十音順、敬称略）

氏 名	申請課題	当該分野	所 属
たまだ ひろみ 玉田 宏美	オルガネラ三次元微細構造観察による神経修復メカニズムの解析	組織学	名古屋大・医・機能形態学・機能組織学
つじ たくま 辻 琢磨	電子顕微鏡による膜脂質解析	細胞生物学	順天堂大・医・老人性疾患病態治療研究センター・分子細胞学
はせがわ ともか 長谷川 智香	微細環境変化による組織転換：血管および骨の転換メカニズム	組織学・発生学	北海道大・歯・硬組織発生生物学
むろう さとる 室生 暁	骨盤底における平滑筋と骨格筋の協調関係	肉眼解剖学	東京医歯大・医・臨床解剖学
やまだ じゅん 山田 純	海馬神経回路の制御基板としての糖鎖の役割	神経解剖学	九州大・医・神経解剖学

令和3年度日本解剖学会認定技術者功労賞受賞者（敬称略）

氏 名	所 属
さきはま よしあき 崎浜 吉昭	神戸大・医・生体構造解剖学

⑤ 内外学術団体との協力ならびに連絡

資料に基づき、解剖学会が行った後援もしくは協賛について報告があった。

後 援	・第40回人体解剖トレーニングセミナー ・第12回形態科学シンポジウム
協 賛	・日本顕微鏡学会第77回学術講演会、第45回関東支部講演会 ・レーザー顕微鏡研究会第46回講演会・シンポジウム

⑥ 技術者認定

資料に基づき、2級技術者合格者が報告され、了承された。1級技術者認定試験の受験はなかった。

2級技術者合格者（五十音順、敬称略）

氏 名	所 属	種 別
うめもと 梅本 ひとみ	徳島大・医・解剖教育支援室	解剖

まつもと 松本 凌	長崎大・医・肉眼解剖学	解剖
はやし 林 康道	聖マリアンナ医大・解剖	解剖

5.2021（令和3）年度決算および会計監査報告の件

資料に基づき、令和3年度決算について仲嶋常務理事から報告があった。また、2022年2月28日に行われた独立監査人による財務諸表等に対する監査報告書に基づき、岡部監事から会計監査報告があった。審議の結果、承認された。

6.2022（令和4）年度予算および事業計画の件

資料に基づき、令和4年度事業計画について報告があった。審議の結果、承認された。

7.2023（令和5）年度予算執行の件

資料に基づき、令和5年1月から3月までの予算執行の決定に関する理事会への一任について提案され、承認された。

8.第130回（2025（令和7）年度）総会・全国学術集会開催担当校の件

資料に基づき、日本生理学会、ならびに日本薬理学会との合同大会として開催する第130回総会・全国学術集会担当校に北海道大学、会頭に解剖発生学の渡辺雅彦氏を推薦する旨、提案され、了承された。

9.その他

特になし。

V.第128回（2023（令和5年度）日本解剖学会総会・全国学術集会準備状況

資料に基づき、大和田祐二会頭（東北大学、器官解剖学）より大会テーマ（「サイコウ、解剖学！ ～かたちを見る、知る、活かす～」）、大会期間（2023年 3月18日～20日）、開催会場・方法（東北大学川内北キャンパス、仙台市青葉区）などの第128回（2023（令和5年度）日本解剖学会総会・全国学術集会準備状況が報告された。なお、現地開催の形式で行う方向で準備していることが説明された。

閉会の辞

議長（佐藤真氏）より、閉会の辞が述べられた。